

全薬会議・道修町 ニュース

2004年4月 第5号

大阪の地にて

「薬業問題を考えるシンポジウム」開催される!!



2月15日(土)、エルおおさかにおいて、東京、名古屋、大阪などから大手、外資、中堅企業やジェネリック薬など17社製薬メーカーの職場の仲間が参加し、全薬会議主催の「薬業問題を考えるシンポジウム」が開催されました。

今回のシンポジウムは、さまざまな人減らしや合理化、さらに、成果主義賃金や年俸制の導入など、労働者同士の競争・労働強化により労働者の生活・権利がこれまで以上に脅かされてきているなか、情勢を正しく把握し、その課題と闘う方向性を明らかにすべく、現在の職場の状況を、とりわけ大手が軒を連ねる大阪・道修町の職場からの状況を含め出し合い共有するため、大阪での開催の運びとなりました。

当日は、早朝より東京や名古屋、大阪の仲間が参加するなか、磯部代表幹事の開会挨拶、荒木事務局長の基調報告で始まり、参加者の職場で今起きている実情や問題などが、多くの資料やプロジェクター等も駆使される中で報告され、あらためて、企業の統廃合や分社化、リストラ、差別の実態等、様々な問題が明確に浮かび上がりました。参加者全員の真剣かつユーモアに富んだ発言によって瞬間に時間が過ぎましたが、日頃聞けない他社の内情に一同驚いたり、感心したり、大いに学ぶ事が出来たと思います。

シンポジウムでは最後に、「国民の生命と健康を守る医薬品作り」と労働者の生活と権利を守るため、薬業労働者が引き続き団結して闘っていく事が確認されました。

参加者の発言要旨(全薬会議ニュース抜粋)

★「医薬品製造の他社への委託を7割に増やす方針の中、多くの技術者が定年退職しても、正社員は雇わずにパート、派遣社員を採用している。委託製造で年間250件ものクレームが発生しており、将来製造の技術低下が懸念される。」

★「成果主義賃金の導入で、研究が1年間で評価され、まともな研究が出来ず以前よりも情熱を持って研究できない。その結果、10年間も新薬が出ていない。」

★「新人事制度による賃金改定で、家族手当や寒冷地手当など人件費削減が行なわれた。」

★「日本企業を吸収したとき、リストラは行なわないといっていたが、グローバル化で海外データを使用するので国内の研究所の動物実験室を廃止し、安全性部門の人数を1/3にリストラした。」



★「合併前にトップ、マネージャークラスの人事が発表され支店長の半分が職場を去り、最後に一般社員の人事が行なわれた。合併前は別々の会社の社員であったのでお互い遠慮しながら仕事をす。職場の雰囲気になじめず、今でも五月雨式に社員が辞めている。」

★「成果主義賃金の導入で、一時金が一般社員で年間最低3ヶ月から10ヶ月の格差、マネージャークラスで効果が悪いと年間1.5ヶ月の一時金しか出ない。」

★「ジェネリックは大手新薬メーカーの製品と同等の品質であっても利益率が何十倍も違い、ジェネリックメーカーは多くの製品を取り扱わなければならない。ジェネリックが安いのは品質が悪いからだとの誤解がある。」



国内製薬企業初の大型合併

山之内と藤沢の合併発表は医薬品業界に大きな衝撃を与えている。合併を決意した理由として両社は、世界市場で「勝ち組」として生き残るための決断をあげている。今回の合併発表に対して、マスコミ・業界紙は一様に大きな評価を示している。厚労省が「医薬品産業ビジョン」に掲げた「メガファーマ」の具体化の1つである。これを機に、今後新たな本格的再編が進むと論じる報道も多い。

世界に通用する巨大製薬企業の誕生そのものは、直ちに問題にすることではないかもしれないが、今までの合併でほとんど例外なく大規模な人員削減が強行されてきたことから、山之内、藤沢

の合併でそれを心配する声が強まっているのは当然である。既に、藤沢は昨年10月に製造部門を分社し、1400人の社員を転籍している。山之内も分社化を進めている。合併で今後、製造部門以外にもリストラが拡大されることが予想される。

資本の論理が優先され、労働者の職を奪って平然としている企業、大企業の横暴野放し、国民生活無視の政府。こんな事態をいつまでも許す訳にはいかない。7月の参議院選挙で思い知らせなければの想いがつのる。

(N記)



<< 全国薬業労働者連絡会議・道修町「第2回総会」のお知らせ >>

2003年2月1日に、全薬会議・道修町の発足総会を開催し、以来早いもので1年と2ヶ月が経過しました。

この間の活動を振り返り、運動の方向を再確認し、新たな1年の活動方針を決めていきたいと思います。会員各位の参加をお願いします。尚、**当日午後には、同じエルおおさかにて仙頭さん支援の「お茶と講演の春のつどい」が行なわれます。**あわせて御参加くださいますよう、お願い致します。

日時:4月17日(土) 10時~12時 エルおおさか704号

議題:①2003年度活動報告、②会計報告、③2004年度活動方針

※議事終了後、「改正薬事法」についてのミニ講演会を予定しています。お楽しみに!

代表者派遣カンパに御協力を!!

医療費の三割負担等により受診率が低下して、ますます重病にならないと受診しない患者さんや、通院を中断している患者さん等、厚労行政の厳しさが弱者をますます追い込んでいる今日、医療行政の政策まで踏み込んで制度改悪を阻止し改善することが求められています。その為私達は、現在定期的に実施されている厚労省交渉や厚労省懇談会および保団連との懇談会を重視し運動を強化する事が重要との認識のもと、我々の組織からも恒常的に代表者を送り出すことが必要と考えています。(直近では、5月21日の東京派遣を目標としています。)

消費税改悪、年金改悪など我々労働者にとって金銭的に苦しい中ではありますが、多くの方のカンパをお願いします。お近くの全薬会議・道修町役員までお願いします。



全国薬業労働者連絡会議(全薬会議)・道修町

連絡先:大阪市淀川区西宮原町2-6-64 日本シェーリング労組内 全薬会議大阪ブロック気付

TEL:06-6392-5690 FAX:06-6392-5691